

ホクレン旗争奪第 44 回全道少年軟式野球選手権大会 上川支部大会開催要項

1. 目 的 野球を愛する少年達が野球を通じて友情を培い、正しいルールを学び、体力、技術の向上を図り、少年達の健全育成に寄与することを目的とする。
2. 主 催 北海道少年軟式野球連盟 上川支部
3. 主 管 北海道少年軟式野球連盟 旭川分会
4. 開催期間 令和 8 年 5 月 16 日（土）～17 日（日）
5. 開催場所 当麻球場
6. 試合方法 各分会の代表チームによるトーナメント戦とする。
7. 参加資格 （1）出場選手は、各連盟に A 級登録されている選手。
（2）スポーツ傷害保険に加入している選手。
8. 代表チーム 旭川分会 4、富良野分会 2、名寄分会 2
9. チーム編成 各分会に登録されている責任者 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、選手 25 名以内で単独チームを編成すること。
10. 参加経費 （1）参加チームは、大会運営費の一部として参加料 15,000 円を大会当日大会本部へ支払う。その他の大会運営費は、主催者が負担する。
（2）各チームの参加費は、チーム負担とする。
11. 表 彰 優 勝 …… 優勝旗、賞状、楯を授与する。
準優勝 …… 賞状、盾を授与する。
3 位 …… 盾を授与する。
12. 参加申込書 出場資格を得たチームは、所定の「参加申込書」2 通を所属分会へ提出する。分会は「参加申込書」1 通を下記あてに、Eメールにて令和 8 年 5 月 11 日（月）までに提出すること。

旭川軟式野球連盟 Eメール arbb@cameo.plala.or.jp
13. 組合せ抽選 3 月 28 日上川支部総会において事前に抽選済みである。

ホクレン旗争奪第 44 回全道少年軟式野球選手権大会 上川支部大会特別規則

1. 試合球は J 号とする。
2. 本大会は 6 回戦とし、1 時間 30 分を経過したら新しいイニングに入らない。
3. 投手の投球数制限を行う。投球数は投手一人 1 日 70 球以内とする。4 年生以下にあっては 1 日 60 球以内とする。
 - ・ 規定投球数に達した場合その打者が打撃を完了するまで投球できる。
 - ・ タイブレークになった場合、1 日規定投球数以内で投球できる。
 - ・ 投球数の管理は、チームが行う。
4. 本大会の正式試合は、4 回又は 1 時間を経過後は成立試合とする。
5. 得点によるコールドゲームは 4 回 10 点差、5 回以降 7 点差とする。
6. 試合時間内であって、6 回を終了し同点の場合、又は 6 回に満たなくても、試合時間が経過し、同点の場合、タイブレーク方式を行う。勝敗が決しない場合は、2 イニング行い、同点時は抽選とする。
7. 暗黒降雨・日没によるコールドゲーム
4 回又は 1 時間経過後は成立、これに満たない場合はノーゲームとする。
4 回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合、特別継続試合とする。なお、試合成立後、天候等（雨、暗黒、日没）により試合を打ち切った場合は、均等回の得点をもって勝敗を決する。
8. 指名打者ルールを使用することができる。ただし二刀流は採用しない。
9. 抗議のできる者は、監督、当該プレーヤーに限られる。なお、監督に限りグラウンドに出て指示などをすることができる。ただし、コーチスボックス内に止まって指示することはできない。
10. 少年用金属バット、マスク（スロートガード付）、耳付きヘルメット、プロテクター、レガースは全軟連公認のものに限る。
11. 危険防止のため、打者、次打者、ベースコーチ、走者とも両側イヤーフラッグのついたヘルメットを必ず着用すること。なお、捕手用ヘルメット、ファールカップについても着用すること。
12. 試合中のボールボーイは、各チームにおいて、その任にあたること。
13. 選手以外でベンチに入れるのは責任者・監督・コーチ 2 名・スコアラー 1 名・マネージャー 1 名の合計 6 名までとする。なお、熱中症対策として 2 名のベンチ入りを認める。
14. 大会期間中（予備日を含む）に全試合を行えなかった場合は、それまでに勝ち進んだチームの監督による抽選により勝敗を決することもある。
15. その他の規則は 2026 年公認野球規則を適用する。

ホクレン旗争奪第44回北海道少年軟式野球選手権大会
上川支部代表決定戦 組合せ

大会期間 2026年5月16・17日(土・日)当麻球場・当麻A

大会責任者:大澤 090-3899-8238

雨天連絡:7:00~7:30

